

有意義な人生とは

—進路の自己実現を考える—

栃木県日光市立湯西川中学校

講義資料

2017年10月2日(月)

14:00~14:50

日光市立湯西川中学校

多目的スペース

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 有意義な人生とは何だとお考えですか。

A : 夢を持ち、夢の実現に向かって、様々なことを学び、様々な取り組みをしながら、一步一步、歩んでいくことだと思います。

Q 2 : 夢は実現しますか。

A : (1) 私の好きなことばを紹介します。

If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれを実現することができる)

(2) これは、人類を初めて月に送り込んだ、アメリカ・ヒューストンの宇宙技術者の合言葉だそうです。

(3) 夢を実現するための第一歩は、夢を持つことです。

夢を持った上で、その実現に向かって、様々なことを学び、様々な取り組みをして、一步一步、歩んでいくことが大切です。



Q 3 : では、どのようにして、有意義な人生を実現するような夢を持てばよいのでしょうか。教えてください。

A : (1) 一番大切なのは、自分自身の「よさ」を知り、「そのよさをどんどん伸ばす」ことです。

(2) 勉強でしたら、自分の得意科目や大好きな分野は何かを自分でよく知り、誰に遠慮することなく、自分の力でどんどん伸ばすことです。

(3) よくわからないところは、学校の図書館で調べること。

湯西川中学校の図書館は素晴らしいものです。

図書館の最大活用をおすすめします。



(4) それでもわからないところがあったら、友達同士で教え合ったり、先生方に質問させていただくことです。

(5) 得意科目や好きな分野をどんどん勉強していくと、やりたいことや実現したい夢が少しずつ見えてきます。

Q 4 : 学校の勉強ですか。思いもよらない答えでした。ほかにもありますか。

A : (1) 新聞を、毎日、一面から読むことです。

(2) 新聞には、日光市や栃木県、日本や世界で、今、何が起きているかが、詳しく書かれています。

(3)新聞を、毎日、一面から読むことで、世の中のことがよくわかります。
新聞をよく読んでいくと、今の世の中の課題や、これからどのような世の中になっていくかが、少しずつわかってきます。



(4)新聞を、毎日読み、自分自身でやってみたいこと、取り組んでみたいことを考えることも、夢を持つ上でとても役に立ちます。

(5)新聞を読んでいて、気になる記事があったら、「スクラップブック」に貼って何回も読み返しましょう。

(6)新聞を読んで身に着くのは、「自分で考える力」と「批判的思考能力」です。

(7)TV やラジオでも紹介されていますが、新聞を読むと世の中にはいろいろな進むべき道があることがわかります。世の中にある仕事、社会的な活動、様々な生き方をしている方が毎日のように紹介されているのが新聞です。

Q 5 : 新聞を読むことのほかに、したほうがよいことは何ですか。

A : (1)本格的な読書です。

(2)教科書で紹介されている本や、学校の図書館の本、先生方やご家族がすすめてくれる本を、時間をかけてしっかりと読むことを、おすすめします。



(3)できれば、湯西川中学校の学校図書館の本を、卒業までに全部読んでしまいましょう。

(4)読書を通して、作者との「時空を超えた対話」をしましょう。

(5)本を読んでいて、気に入ったところがあったら、「書き抜き読書ノート」に、たとえ一行でも、書き写しましょう。

この「書き抜き読書ノート」は、折に触れ一生かけて何回も読み返してみましよう。

皆様の素晴らしい「宝物」になります。



(6)読書により身に着くのは、「読解力」と「思慮深さ」です。

(7)よく生きるとは何か、どのような人生を歩んだらよいかを考えるのに、一番役に立つのが、本格的な読書です。

これぞと思う本は、一回だけではなく、何回もゆっくり読み返しましょう。

(8)皆様は、本を何回読みますか。教えてください。



Q 6 : 学校での勉強は、社会で役に立つのですか。夢を実現するのに役に立つのですか。

A : (1) 学校での勉強は、社会で全部役に立ちます。

中学校で学ぶすべての教科の勉強、中学校での教科以外のすべての教育活動も、社会で役に立ちます。

(2) ですから、学校での勉強や教育活動に、しっかりと取り組んでくださいね。

(3) 教科書や教材を読んでいて、意味のわからないことばがあったら、「気持ちが悪い」と考えて、必ず辞書で調べ、その場でことばの意味や書き方を覚えてしまいましょう。

調べたことは、「意味調べノート」や「カード」に書き写し、繰り返し読み直し、全部覚えてしまいましょう。

「ことば力」「語彙(ごい)数は力」です。

(4) 中学校の教科書は、決して処分しないで保存し、一生かけて「学び直し」をすることをすすめます。

(5) 少しずつでもよいですから、中学校時代に、「勉強の仕方」も身に着けましょう。

① 「予習の仕方」

② 「復習の仕方」

③ 「定着の仕方」

定着には、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」が、とても役に立ちます。

④ 「試験の受け方」

(6) 大切なことをメモすることができるのは、大切な能力です。

夢の実現にも役に立ちます。

「仕事はメモで身に着ける」とも言われます。

(7) 「5S(ごえす)」も身に着けましょう。

① 「整理」 seiri … 不要なものを処分する

② 「清掃」 seisou … きれいに掃除(そうじ)する

③ 「整頓」 seiton … ものは決まったところに置く

④ 「清潔」 seiketsu … ①～③を継続する

⑤ 「躰」 shitsuke … 自分から進んで行く



(8)別の意味の「躰」(しつけ)も大切です。

- ①美しい立居振舞い(たちいふるまい)
- ②敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)



(9)中学校時代に身に付けておいたほうがよいエチケット。

- ①人に言われていやなことは口にしない。
人からされていやなことは、人にしない。

②こちらから、元気にあいさつ。

③お先にどうぞ。AFTER YOU

④感謝はことばに出してはっきり伝える。

⑤食事のときは、全員の分がそろってから、食べ始める。



Q 7. 最後に、好きなことばを紹介してください。

A : (1)「スポーツの3つの宝」

- ①「練習は不可能を可能にする」
- ②「フェアプレー」
- ③「よき友」



(2)「教育ある人とは、勉強し続ける人」

(3)「一生勉強、一生青春」



ただし、「健康第一」です。「心の健康」と「身体の健康」を大切に。

ご清聴を感謝いたします。

ご質問やご意見があれば、ご自由にご発言ください。

ありがとうございました。

2017年9月27日13時20分